

### 東日本大震災被災地支援街頭募金を行います

東日本大震災発生から3年を迎える、3月11日(火)の昼(12:10~13:00)と夜(17:30~18:30)の2回、水道橋駅東口周辺で東日本大震災被災地支援街頭募金を行います。

YMCAでは、盛岡YMCA 宮古ボランティアセンター、仙台YMCA 東日本大震災支援対策室、YMCA 石巻支援センターを拠点とした津波被災地での活動、また福島を中心とした放射能による被災地と全国への避難者の方々への支援をそれぞれ継続しています。

今回の募金はこれらの各地域における活動支援のために用いられます。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます



2013年9月に行った街頭募金の様子

### 街頭募金ボランティア募集中!

参加いただける方は、YMCAまでご連絡ください。  
(電話 03-3233-0611 担当 たづけ)

### 2014年2月までのその他の活動

#### 日本語学校 冬の東京体験



日本語学校では1月13日から28日まで、15泊16日の日程で、短期研修「冬の東京体験」を実施しました。今回は、台湾から23名、韓国から2名、中国・香港から各1名の計27名が参加し、午前中の日本語研修、午後の自由散策、またボランティアの皆さんとの交流や都内見学、一泊ホームステイ等のプログラムを大いに満喫しました。以下に、参加者の感想をご紹介します。

「東京を旅するのはとても楽しかったです。日本人と会話して、日本語会話の練習ができました。日本人は親切で、サービスもいいです。今度日本に来るときは、まだ行ってないところにも行ってみたいです。」

「東京を旅するのはとても楽しかったです。日本人と会話して、日本語会話の練習ができました。日本人は親切で、サービスもいいです。今度日本に来るときは、まだ行ってないところにも行ってみたいです。」

#### 子どもコリアウィンタースクール



12月26日、子どもコリアウィンタースクールを開催しました。日本語学校に通う韓国留学生のお兄さん、お姉さんたちから韓国語のあいさつを習ったり、みんないっしょに韓国の民俗遊びであるチェギやペンイ、ユンノリ等を楽しんだりしました。昼ごはんも子どもたちが力を合わせて、チヂミを作りました。とても美味しくできて、みんな大満足でした。

#### 韓国映画を観る会



昨年10月より、会員活動委員会の主催による自主プログラム「韓国映画を観る会」が毎月第2金曜日午後6時半より、YMCA3階教室を会場に行われています。お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中、大型テレビのモニターで名作映画のDVDを鑑賞しています。これまでに、「JSA」、「猟奇的な彼女」、「風の丘を越えて」、「私の頭の中の消しゴム」等の作品を見てきました。2月は大雪のため中止となりましたが、3月は通常通り14日(金)午後6時半より「八月のクリスマス」を鑑賞します。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。参加費は無料です。

### 今後の予定 2014年3月~2014年5月

#### 【東京韓国YMCA】

- 3/3(月) 第232回 教界指導者朝食祈禱会
- 3/8(土) 韓国伝統楽器・舞踊教室発表会
- 3/11(火) 東日本大震災被災地支援街頭募金
- 3/14(金) 韓国映画を観る会「八月のクリスマス」
- 3/19(水) 日本語学校 2013年度 卒業・修了式
- 4/9(水) 日本語学校 2014年度4月期 入学・始業式
- 4/15(火) 第4回 理事会
- 5/12(月) 第233回 教界指導者朝食祈禱会
- 5/12(月) 理事候補推薦委員会
- 5/17(土) 2014年度 定期会員総会・第1回理事会
- 5/17(土) 第6回 オリーブ平和映画祭

#### 【関西韓国YMCA】

- 3/8(土) 第4回 四季を彩る韓国料理「九節板と花餅」
- 3/14(金) 第113回 教界指導者早天祈禱会
- 4/8(火) 2014年度 韓民芸科開講
- 4/12(土) 第6回 理事会
- 4/15(火) 2014年度 日本語教室開講
- 5/9(金) 第114回 教界指導者早天祈禱会
- 5/24(土) 理事候補推薦委員会
- 5/24(土) 2014年度 定期会員総会・第1回理事会



### YMCA 東京日本語学校学生募集中

#### 【編集後記】

- ソチ五輪での浅田真央ちゃんは、ほんとうに素晴らしかったです。最後まで諦めない姿勢をみないたいです。(た)
- 在日する外国人、特に日本と色々葛藤の種をもつ韓国人としての立場をちょっと深く考えさせられること最近です。(朴)
- 軽井沢は観測史上最大の雪が降り、家までたどり着くために人生初めてスノーシューを履きました。(才)
- 転居しました。快適ですが、住みこなすにはまだまだ。(白)
- 新生活のスタートに向けて着々と準備が進んでいます。心の準備もそろそろスタートしなければ!(U)

KAKEHASHI かけはし 2014 March vol.14

発行人: 金秀男 発行: 在日本韓国YMCAアジア青少年センター  
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5  
TEL: 03-3233-0611 FAX: 03-3233-0633  
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/  
ayc@ymcajapan.org



『かけはし』次号は2014年6月発行予定です。

Twitter: @zainichiyymca Facebook: Korean YMCA in Japan  
より良い紙面づくりのために、ご意見・ご感想をお寄せください。

在日本韓国YMCA  
アジア青少年センター  
Korean YMCA in Japan  
Asia Youth Center

# かけはし

## YMCA子どもクリスマスは楽しい! 高恩妃(コ・ウンビ) 小5

~2013年YMCA子どもクリスマス会に参加して~

YMCAは毎年いろいろなイベントがあって楽しい所です。季節ごとにいろいろなイベントがあります。その中で私が一番好きなイベントは子どもクリスマスです。



今回の子どもクリスマスでは新聞雪合戦というゲームをやりました。二つのチームに分かれて丸めた新聞を投げ合って、時間切れのときに自分のチームに新聞が少なかったほうが勝ちのゲームでした。私がリーダーになった

チームは二回戦とも負けてしまいました。おしかった!



そして、ユースリーダー達と松ぼっくりでクリスマスツリーを作ったり、韓国の楽器チャンゴをたたいたり、美味しいケーキを食べたりもしました。おいしかったなあ!

ほかに、参加している人達が持ってきたプレゼントと自分の持ってきたプレゼントの交換もしました。自分のプレゼントがだれに当たるか、そして自分は何が当たるか、とてもドキドキします。

クリスマスの歌も歌います。クリスマスについての読み聞かせもあって楽しいです。



サンタが登場したけれど、私は昔、プレゼントを持ってきてくれるこのサンタさんが本物だと思っていました。でも今はもうわかってます!(笑)。サンタさんと写真を撮ることもできます。



今年私は6年生になりますが、この子どもクリスマスに私は小学生になる前から参加しています。小さいころはお母さんから離れるのがイヤで泣きながら参加していた時もありました。今回もそのころの私くらいの女の子が

いて、泣くかなと思いましたが、私と違いすごく楽しんでいました。私になついてくれて、一緒に遊べてとても嬉しかったです。かわいかった!

前はキャンプと一緒にいった友達がたくさん来てたけれど最近はあまり来なくなったので今年はたくさん来てほしいです。ワクワク!

YMCAには、夏にはサマースクールやキャンプ、秋にはバザー、冬にはウィンタースクールや子どもクリスマスなどさまざまなイベントがあります。いろいろなイベントで一緒に楽しみましょう。ワイワイ!

## 聖書に聴く 第14回 朴栄子 牧師(パク・ヨンジャ/豊中第一復興教会)

2・8 独立宣言について考えるとき、ただ畏敬の念を抱くばかりです。まだ学生の彼らに、なぜあんな大それたことができたのだろう。いろいろと考えてみましたが、最も納得のいく私なりの回答は、彼らには「遣わされた者である」という強い使命感、ミッションがあったということでした。

彼らに共通していたのは、ただ勉強して国で一旗揚げようという矮小な考えの持ち主ではなかったということです。国の未来を背負って、将来は祖国の発展のため、人々の安寧のために働くという崇高なミッションを抱いた若者たちだったのです。

私たちはみな、「遣わされた者」であり、神さまから与えられたミッション、使命があります。私たちに与えられたミッション、それは「破れ口に立つ者」のつとめです。

城壁が破れていたら危険ですから、大急ぎで修復しなければなりません。神は預言者を通してイスラエルの民に繰り返し、悔い改めを迫られました。人々は素直に聞こうとはしません。腐敗したイスラエルは、「金滓(かなかず)の町」と呼ばれてしまいます。

金滓は、金属を精製する際に出る不純物です。かつては神に愛され尊ばれた民が、炉の中で溶かされてしまうのです。

私はこの日本が「かなかずの町」となってほしくありません。韓国との関係、中国との関係、原発問題、いろいろと心配なことが多い昨今です。唯一の被爆国として、平和に寄与してほしいと切に願います。私たちはなぜ、今の場所に置かれているのか、そのことを2・8の出来事は考えさせてくれます。自分がここにいる意味、ミッションは何なのか、そのことを考えてみたいと思います。

「この地を滅ぼすことがないように、わたしは、わが前に石垣を築き、石垣の破れ口に立つ者を彼らの中から探し求めたが、見いだすことができなかった」(エゼキエル22:30)

(本文は関西韓国YMCAで行われた2・8独立宣言95周年記念集会「2・8独立宣言記念礼拝」説教を要約したものです)

# 連載 東京の中の韓国を巡る【第6回・～新大久保/高麗博物館～】

才門勇介(「かけはし」編集委員)



ビルの一階にある看板

「東京の韓国を巡る」第6回は、まだところどころに雪の残る中、新大久保にある高麗博物館にお邪魔しました。

高麗博物館は日本人と在日コリアンの市民たちが一緒にNPO法人として運営する珍しい博物館です。タイトルは「市民が作る日本・コリア交流の歴史博物館」です。日本とコリアの間の長い交流の歴史を目に見える形で展示することで相互理解、友好をはかることを目的としています。加えて、在日コリアン固有の歴史、文化も伝え、民族差別のない共生社会の実現を目指します。

新大久保の職安通り、ドン・キホーテの並びの第2韓国広場ビルの7階にあります。エレベーターを降りると、とても博物館というイメージではないごんまりとした入口がありました。



エレベーターを降りると入口があります

博物館には常設展示コーナー、企画展示コーナー、コリア文化コーナーがあり、まず正面にあるのは企画展示コーナーです。

現在の企画展示(3月30日まで)は「夜明けを求めて—詩と画でつづる独立運動

の女性たち—」と題した詩画展でした。

詩自体はハンゲルで書かれています。もちろん日本語訳のパンフレットも用意されています。しかしその力強さは一見とてもきれいな絵と合わさって、ハンゲルの読めない私にも迫力を持って十分伝わってくるモノでした。それこそ日本人である私にはその圧倒的な迫力に居心地の悪ささえ感じるほどです。

ただ、単に心苦しいというのとは違い、感じ、知っておくべきものであるという感覚をおぼえました。

そして常設展示コーナー。まず目に飛び込んできたのは沖縄で日本軍慰安婦にされたハルモニ像です。これまた何ともいえない静かな迫力を持った像です。ただ、この常設展示コーナー



迫力と同時にきれいな詩画

では、日本とコリアの歴史を時代にそって説明しており、そこは不幸な歴史だけではなく豊かな交流も説明されています。

また、そこに続くコリア文化コーナーは「コリアの美しいものたち」の展示がされチマチョゴリの試着までできる華やかなコーナーになっています。

高麗博物館は規模こそ小さいもののこの展示の流れも含め、よくできた博物館です。強烈なインパクトを与えたとともにその苦しさだけを訴えかけるのではなく、様々な交流、文化の中での未来までを感じさせるものとなっています。歴史的な理解がなくては本当の意味での共生社会は実現しない、そう感じさせられました。



現在の企画展示は女性独立運動家の詩画展



常設展示は、時代ごとの日本と朝鮮の交流の歴史についてのもの。奥は文中のハルモニ像

## 東日本大震災救援・復興募金継続実施中

### 募金の送り先

窓口持参または郵便振替で下記にご送金ください。  
「東日本大震災募金」とご記入下さい。  
00190-4-539049 在日本韓国 YMCA

東日本大震災の被災地支援を目的として「YMCA東日本大震災救援・復興募金」を引き続き受付けております。

4面に「東日本大震災被災地支援街頭募金」の記事がございます。どうぞご覧ください。

# 2013年12月～2014年2月のプログラム

## 東京韓国YMCAの活動

### 2・8独立宣言 第95周年記念式



植民地下朝鮮における最大の独立運動である3・1独立運動の導火線となったことで知られる「2・8独立宣言」が、当時のYMCA講堂において朝鮮人留学生たちによって宣布されてから95周年を迎えた2月8日、今年も本会と大韓民国国家報勲処との共同主催により、「2・8独立宣言 第95周年記念式」が盛大に開催されました。

2・8独立宣言が発表されたその日の東京は数十年ぶりの大雪に見舞われていたそうですが、今年はまさにその日を髣髴させる大雪の天候となりました。足元の悪い中にもかかわらず、李丙琪駐日全権大使、李景根国家報勲処報勲宣揚局長、朴維徹光復会長、朴三鎬民団中央本部副団長をはじめとする内外貴賓の皆様にご多数出席いただき、祝辞を頂戴しました。今年は韓国政府間の関係が悪化している中での開催となりましたが、多くの祝辞が、過去の歴史を直視しながら、将来の共生のための働きを進めて行くという未来志向的な内容となっていました。韓勝宇留学生連合会会長による独立宣言朗読、徐史晃在日本大韓民国青年会中央本部会長の先唱による万歳三唱は、95年前の感動をあらためて呼び起こしました。また東京韓国学校生徒たちの合唱団カンタービレとオモニ合唱団の皆様による合唱も式典に花を添えました。

今回の式典には、宣言署名者の一人である金尚徳志士の御子息である金正陸さんも出席され、金尚徳志士の遺影を本会2・8独立宣言記念資料室にご寄贈いただきました。

### 2013年 YMCA クリスマスの夕べ



関東地方の各教会の皆さんと合同で、音楽やパフォーマンスを楽しみながらクリスマスをお祝いする、毎年恒例の「YMCA クリスマスの夕べ」が12月8日に開催されました。

オープニングの演奏、賛美、祈祷に続き、クリスマスの聖書箇所が4か国語により朗読され、金健牧師(在日大韓基督教川崎教会)が「クリスマスに参与する」と題したクリスマスメッセージを伝えてくださいました。その後は、楢垣佐夜子さん(ソプラノ)と村上明日香さん(ピアノ)による素敵なミニコンサート、在日大韓基督教会関東地方連合青年会による楽しい劇、東京教会連合聖歌隊によるハレルヤコーラスで大いに盛り上がりました。最後にはサンタさんも登場し、子どもたちも大喜びでした。

昨年に続き、今年も会場では、在日本韓国YMCAが交流を進める、パレスチナの東エルサレムYMCAで製作されたオーブクラフトの販売も行われました。当日の献金およびオーブクラフトの売上は、フィリピン台風被災地支援緊急募金、東エルサレムYMCAの子どもプログラム支援等のために捧げられました。

12月21日には、YMCA 子どもクリスマスも開催されました(子どもクリスマスについては、1面の高恩妃さんの文をご覧ください)。

## 関西韓国YMCAの活動

### つながりゲーム大会開催



生野地域活動協議会主催の「つながりゲーム大会—日韓のお正月遊びを楽しもう—」がKCC会館の5階ホールで2月2日午後に行われました。

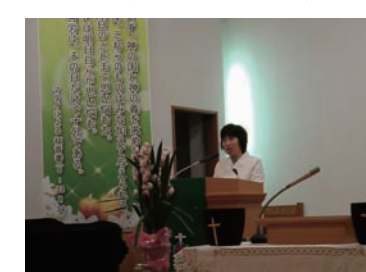
このプログラムは初めての試みだったのですが、地域の教会から子どもと大人あわせて55名とたくさんの参加者でにぎわいました。

自己紹介の後、日韓のお正月の歌「お正月」カチカチソルナルからはじまり、ゲーム、福笑い、韓国と日本のコマ対決、チェギチャギでは何回も繰り返せることができるかお友だちと夢中になって競争しました。おやつタイムのあとの大きな札の聖書カルタは白熱して最後まで緊張感が途切れませんでした。

ユンノリは4チームに分かれて競いました。初めての人には少しルールが複雑かと心配していましたが、すぐに遊び方を覚えてすべてのチームがゴールまでたどり着きました。

あっという間の2時間、日本と韓国のお正月遊びを大人も子どももしっかり楽しみました。 金弘明(キム・ホンミョン)

### 2・8独立宣言95周年記念集会



関西での2・8独立宣言95周年記念集会は2月5日午後7時から在日大韓基督教会平野教会にて行われました。

第1部の記念礼拝では豊中第一復興教会朴栄子牧師より『ミッション』と題して説教をいただきました。

エゼキエル書22:30-31、コリントの信徒への手紙Ⅱ 5:17-19から「石垣の破れ口に立つ者」「とりなす者」「和解の使命を果たす者」という言葉を手がかりに、独立宣言を宣布した当時の留学生たちと彼らを支援した日本人たち、そして現在の日本に生きる私たちがイエス・キリストの存在を通して一本の生命の流れにつながり、「自分は何故ここにいるのか」という問いに対する答えを自分の経歴を交えてお話ししたり、聞かざるの心にもその問いは投げかけられました。

続いて映画『2・8独立宣言』を観賞し、礼拝終了後には平野教会女性会の方々による手作りの軽食をいただきながら第2部の懇談会がもたれ、主にあつて親しく交わり恵みあふれる時間となりました。 小林利子(こばやしとしこ)